

# ライフ&マネープラン

## 「子どもを育てるためのお金はいくら？」

このコーナーでは、人生のさまざまな転機で役に立つ、生活設計におけるマネープランをご紹介します。仕事や家事で忙しい毎日を過ごされている皆さんも、時間をみつけて、将来を見据えたマネープランを検討してみてください。今回は、子育てにかかる費用を考えてみます。子どもが生まれて一人前に成長するまで、いったいどれくらいの費用を見込んでおけばいいのでしょうか？ 子どもの誕生から高校を卒業するまでにかかる費用を、さまざまな統計データを元に概算してみよう。

### 子どもの教育にかかる費用

子どもが成長していくために欠かせない教育費。入学金や授業料、学用品費など学校でかかる費用はもちろんのこと、最近では学校以外でもけいこことや塾、通信教育などにかかる費用がかなりのウェイトを占めています。文部科学省の「平成22年度子どもの学習費調査」によると、幼稚園3歳から高校3年までの15年間で、幼稚園3歳から高校3年までの15年間をすべて公立に通った場合の学習費総額は約500万円、すべて私立に通った場合は約1700万円という結果でした。中でも小学校においては、私立学校に通った場合の学習費総額（学校教育費、学校給食費、学校外活動費の合計）は公立の約4.8倍となっています。

平成22年度に公立高校の授業料が無償化<sup>注</sup>されましたが、それ以外の学習費は過去10年ほど横ばい傾向にあります。景気の波にかかわらず、教育にかかる費用は家計の中で必要なものとして一定の金額を占めている、ということになります。

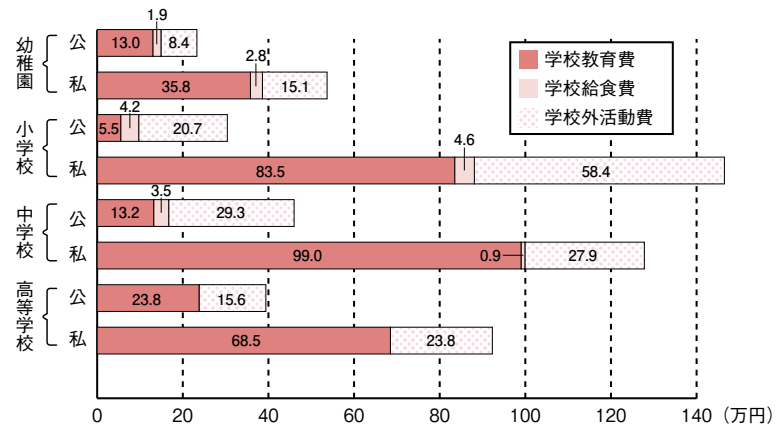
<sup>注</sup>平成26年度には所得制限が設けられる予定。

### 一人前に育つまでの費用を計算してみよう

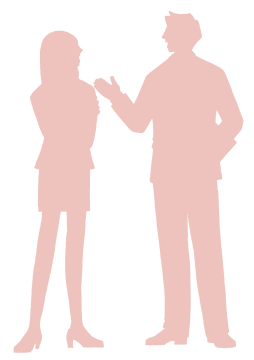
教育費以外にも、出産費用にはじまって、子どもが一人前になるまでにはさまざまな費用がかかります。

まず出産については、通院や検査の費用、入院費や分娩料などさまざまな費用がかかります。その費用は厚生労働省の平成22年の調査

学校種別の学習費総額およびその内訳



参考資料：平成22年度子どもの学習費調査



子どもを18歳まで育てるために必要な費用

費目	内容	金額
出産費用	出産一時金（健康保険より直接支払い）	(420,000)
	検診費	80,000
	その他	100,000
	小計	180,000
食料費	1カ月当たり	20,005
	1年で（×12カ月）	240,060
	18年で（×18年）	4,321,080
	小計	4,321,080
住居費 <small>家賃・地代・設備・修繕・維持・畳・外壁・塀・植木・庭手入れなどの消費支出に住宅ローン返済と土地・住宅購入費用など</small>	1カ月当たり	19,458
	1年で（×12カ月）	233,496
	18年で（×18年）	4,202,928
	小計	4,202,928
保健医療費	1カ月当たり	3,181
	1年で（×12カ月）	38,172
	18年で（×18年）	687,096
	小計	687,096
交通通信費 <small>運賃・自動車関係費・ガソリン・電話代など</small>	1カ月当たり	13,301
	1年で（×12カ月）	159,612
	18年で（×18年）	2,873,016
	小計	2,873,016
教養娯楽費 <small>テレビ・ステレオ・本・文房具・運動具など</small>	1カ月当たり	9,150
	1年で（×12カ月）	109,800
	18年で（×18年）	1,976,400
	小計	1,976,400
光熱・水道費 <small>電気・ガス・灯油・水道料など</small>	1カ月当たり	6,357
	1年で（×12カ月）	76,284
	18年で（×18年）	1,373,112
	小計	1,373,112
被服および履物費	1カ月当たり	3,831
	1年で（×12カ月）	45,972
	18年で（×18年）	827,496
	小計	827,496
諸雑費、こづかい・交際費 <small>諸雑費・理美容・身の回り品・冠婚葬祭費・交際費・仕送り金・こづかいなど</small>	1カ月当たり	19,676
	1年で（×12カ月）	236,112
	18年で（×18年）	4,250,016
	小計	4,250,016
家具家事用品 <small>レンジ・掃除機・洗濯機・家具・室内装飾品・照明・敷物・寝具など</small>	1カ月当たり	3,043
	1年で（×12カ月）	36,516
	18年で（×18年）	657,288
	小計	657,288
教育費 (学校教育費)	保育園・幼稚園( )×カ月	
	小学校公立	54,929×6年
	小学校私立	835,202×6年
	中学校公立	131,501×3年
	中学校私立	990,398×3年
	高等学校公立	237,669×3年
	高等学校私立	685,075×3年
小計		
教育費 (家庭教育費)	習い事( )×カ月	
	塾( )×カ月	
	家庭教師( )×カ月	
	小計	
18年間の合計費用		

参考資料：金融広報中央委員会「これであなたもひとり立ち」（2013年11月）より作成  
生活費関連の数値算出の詳細は「これであなたもひとり立ち・指導書」参照

によると、全国平均で約47万4000円。健康保険や国民健康保険から出産一時金として42万円が支給されるほか、自治体により検診費の補助が出ますが、著名な病院で出産を行ういわゆるブランド出産の場合、さらに高額な費用がかかることとなります。

出産を終えると子育てが始まります。内閣府の「平成21年度インターネットによる子育て費用に関する調査」によると、小学校に上がるまでの年間の子育て費用は約104万円（未

就園児は約84万円、保育所・幼稚園児は約122万円）となっています。

ここまではまだ小学校に入る前までの費用です。これから成長するに従って、さまざまな費用が必要になっていくことはいまでもありません。

食費や被服費、住居費など衣食住にかかる費用はもちろんのこと、病気になれば保健医療費が、また本や雑誌、レジャーといった教養娯楽費、学年が上がるにつれて携帯電話やスマホなどの通信費、さらにはおこづかいなども必

要になってきます。

そこで、子どもが高校を卒業するまでにいったいどれくらいのお金がかかっているのかを概算するために、金融広報中央委員会「これであなたもひとり立ち」をもとに、項目別にとめたのが次の表です。

自分自身や家族のケースを考えて、空欄を埋めたり、数字を入れ替えたりしながら、「いのちを育むお金の額」を考えてみてはいかがでしょうか。